

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果の分析・評価について

各教科担当(3学年担当)が分析・評価した資料です。

これからの3年生への授業に生かすとともに、1、2年生への指導(授業の在り方)にも生かしていくことが重要であると考えております。

次年度に向け、2学期から取り組んでいきます。



令和元年8月
日置市立伊集院中学校

1 領域別・問題形式別

分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)		
			伊集院中学校	鹿児島県(公立)	全国(公立)
全体		10	75	70	72.8
学習指導要領 の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.3	66.2	70.2
	書くこと	2	82.5	82.6	82.6
	読むこと	3	74.9	68.8	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	69.5	66.2	67.7
問題形式	選択式	6	75.2	70.3	73.6
	短答式	1	59.6	54.7	56.8
	記述式	3	79.2	75.4	76.5

(1) 領域別から

「書くこと」の領域の正答率が、全国平均・県平均を0.1ポイント下回った。その他の領域は、それぞれ約2ポイント程上回っている。

(2) 問題形式別から

記述式の問題の正答率が79.2ポイントと最も高く、全国平均と比較しても2.7ポイント上回っている。

2 問題別

(1) 全国平均と比較して正答率が低いもの

大問③ 小問一 (領域：書くこと)

〈問〉 に加える語として最も適切なものを選びなさい。

しかし、 皆が買い物の多くをインターネットで済ませるようになったら、地域の店はいったいどうなってしまうのだろうか。

解答類型(選択式)	正誤	本校	県	全国
1 たとえ我が家がインターネットを利用しても、	×	0.0	2.2	1.8
2 たとえ我が家が地域の店を利用しなくても、	×	5.5	3.9	3.4
3 いくらインターネットが便利でも、	◎	82.9	86.6	87.4
4 いくら地域の店が便利でも、	×	10.3	6.7	6.9
無回答	×	1.4	0.5	0.4

この問いは、「論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」力を評価することを趣旨として出題されている。本校の生徒の解答から、誤答4を選択している生徒および無回答の生徒の多さがみられる。

複文における論の展開を把握できていないことや、「いくら……でも」という表現の使い方が理解できていないことが推察される。

(2) 正答率が低いもの

大問1 小問四 (領域：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

〈問〉 投稿先の名前と住所を(封筒に)条件に従って楷書でていねいに書きなさい。

投稿先 〒100-6564 東京都千代田区中央3 全国中学生新聞「声の広場」係

条件1 封筒の書き方に注意して縦書きで書くこと。

2 投稿先は団体なので、「様」ではなく「御中」と書くこと。

解答類型(短答式)	正誤	本校	県	全国
1 内容, 位置ともに正しく, 名前を大きく書けている。	◎	13.0	15.8	15.4
2 内容, 位置は正しいが, 名前を大きく書けていない。	○	43.2	37.4	38.7
3 内容, 大きさは正しいが, 位置が大きく偏っている。	○	3.4	1.5	2.7
4 位置, 大きさは正しいが, 内容や文字が適切でない。	×	16.4	19.0	16.8
上記以外の回答	×	21.9	20.5	20.7
無回答	×	2.1	5.8	5.6

※○も正答としてみなされる。

この問いは、「封筒の書き方を理解して書く」力を評価することを趣旨として出題されている。解答類型の1～3は全て正答としてみなされるため、本校の正答率は全国平均を上回っているが、完全正答の1の割合は13.0%と低い。名前を住所より大きく書くことや適切な位置に書くことに課題がある生徒が多いことが分かる。また、誤答の4の生徒も16.4%いることから、「楷書でていねいに」書くことに課題のある生徒がいることも推察される。

3 今後の指導について

(1) 「書くこと」に関して

「書くこと」の領域が唯一全国平均を下回っているが、正答率は82.5%と領域別の中では最も高い。記述式による正答率も79.2%と高いことから、書く活動に対する苦手意識は低いと考えられる。しかし「論の展開にふさわしい語句や文の使い方」に課題があることから、書いた(書かれた)文章を読み返し、目的や意図に応じて表現の仕方を検討して、より分かりやすい文章になるよう工夫したりする学習活動が必要だと考えられる。

(2) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関して

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が唯一、正答率において70%を下回っている。本調査の結果からは、「字形や配列を正しく整えて、楷書や行書を使い分けて目的に合わせて効果的に書く力」に課題があるとみられる。正しく読みやすい文字を書く指導を日常的に行うことと、生活の中で活用できるよう封筒や葉書、ポスターやパンフレット等、目的に合わせて書く学習活動を行うことが有効だと考えられる。

数学科 全国学力調査から

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	鹿児島県(公立)	全国(公立)
全体		16	63	57	59.8
学習指導要領の領域	数と式	5	63.0	60.4	63.8
	図形	4	73.6	68.9	72.4
	関数	3	44.7	36.1	40.8
	資料の活用	4	65.4	55.7	56.3

(1) 問題の結果と分析

① 「数と式」は、やや低い。【－ 0.8】

ア 簡単な二元一次連立方程式を解くことができる。【－ 5.7】 問題②

正答率 64.4%・無解答 8.9%

イ 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。

問題⑨

正答率 54.1%・無解答 11.0%

(分析)

アは、代入法で解くか加減法で解くかを判断しなければならない問題であった。連立方程式の解き方が十分に定着していなかったことが考えられる。

イは、文章の読み取りを苦手としている生徒も少なくない。与えられた説明を十分に振り返ることができなかつたと予想される。また、文字を使って表された式が何を表しているのか捉えることができなかつたと考えられる。

② 「図形」は全国を上回ったが、次の問題の正答率が全国を下回っていた。

ア 証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解している。(－ 7.3)

問題⑦

正答率 68.5%・無解答 6.8%

(分析)

与えられた場面を文章から読み取り、根拠として用いられる三角形の合同条件を見いだすことができなかつたと考えられる。

③ 「関数」と「資料の活用」は全国を上回った。

(参考資料)

2 連立方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解きなさい。

9 拓斗さんと若菜さんは、連続する3つの奇数の和がどんな数になるかを調べています。

$$\begin{array}{l} 1, 3, 5 \text{ のとき} \quad 1 + 3 + 5 = 9 = 3 \times 3 \\ 5, 7, 9 \text{ のとき} \quad 5 + 7 + 9 = 21 = 3 \times 7 \\ 13, 15, 17 \text{ のとき} \quad 13 + 15 + 17 = 45 = 3 \times 15 \end{array}$$

拓斗さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想 1

連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍になる。

上の予想1がいつでも成り立つことは、次のように説明できます。

説明 1

n を整数とすると、連続する3つの奇数は、 $2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ と表される。
それらの和は、
 $(2n+1) + (2n+3) + (2n+5)$
 $= 2n+1 + 2n+3 + 2n+5$
 $= 6n+9$
 $= 3(2n+3)$
 $2n+3$ は中央の奇数だから、 $3(2n+3)$ は中央の奇数の3倍である。
したがって、連続する3つの奇数の和は、中央の奇数の3倍である。

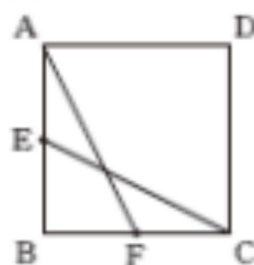
次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 説明1では、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ と変形しています。このように変形するのは、次のことを示すためです。□①に当てはまる式と、□②に当てはまる数を書きなさい。

連続する3つの奇数 $2n+1$ 、 $2n+3$ 、 $2n+5$ の和が、中央の奇数を表す式である □① の □② 倍であること。

- 7 右の図1のように、正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとします。真由さんは、線分AFと線分CEについて、次のことを予想しました。

図1



予想1

正方形ABCDの辺ABの中点をE、辺BCの中点をFとすると、 $AF = CE$ になる。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 予想1が成り立つことは、次のように証明することができます。

証明

$\triangle ABF$ と $\triangle CBE$ において、
 正方形の4つの辺はすべて等しいから、
 $AB = CB$ ……①
 点E、Fはそれぞれ辺AB、BCの中点だから、①より、
 $BF = BE$ ……②
 共通な角だから、
 $\angle ABF = \angle CBE$ ……③
 ①、②、③より、 がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABF \cong \triangle CBE$
 合同な図形の対応する辺は等しいから、
 $AF = CE$

上の証明の に当てはまる言葉を書きなさい。

全国学テ分析 英語（話すこと）

全領域に渡って、正答率が全国平均を上回った。無回答率も全国平均よりも下回った。

- 1 (1) 月日に関する基本的な表現を理解して、応答する問題では、正答率が 34.5% (全国 27.3%) であった。月日を答える問題では、毎時間月・曜日・天気は口頭で聞くようにしているので、もう少し高いことを予想していたが、思ったよりも低かった。しかし、無回答率が 2.8% (全国 8.6%) であったことは、何かしら英語使って話そうとしたことがうかがえる。

7

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



(1) When is her birthday?

(解答時間 6 秒)

- 1 (2) 基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができる問題では、正答率が、47.6% (全国 44.7%) であった。約半数の生徒が正解できたようだ。無回答率が 2.1% (全国 6.6%) であったことは、頑張って英語使って話そうとしたことが、うかがえる。



(2) What are they doing?

(解答時間 6 秒)

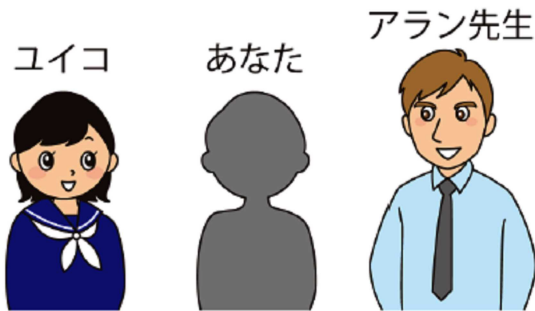
- 1 (3) 適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる問題については、正答率 40.7% (全国 25.7%) であった。かなり全国平均を上回ることができた。約 4 割の生徒は適切な強勢ができていると判断されている。無回答率も 3.4% (全国 7.0%) であったことは、何かしら英語を使って話そうとしたことがうかがえる。



(3) How does he come to school?

(解答時間 7 秒)

- 2 聞いて把握した内容について、やりとりすることができる問題については、正答率が、15.2%(全国 10.5%)であり、無回答率が 16.6%(全国 20.7%)であった。この問題は話の流れから、相手に質問をするので、質問内容を考える必要があった。その質問が考えられずにいたようなので、無回答率が高かったと考えられる。正答率も低かったのは、状況に応じた疑問文が作れなかったと考えられる。



大問2 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。解答時間は 20 秒です。それでは始めます。



A: Look at this picture of my family.



A: This is my favorite picture.

Y: Nice! Who is she?

A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.

Y: I see. What kind of work does your mother do?

A: She is a teacher.



A: Do you have any other questions about them?

(解答時間 20 秒)

- 3 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す問題においては、正答率が、55.9%(全国 45.8%)であった。授業の中で、私は～になりたいという文型を何度もゲーム感覚で言わせたり、夢についてのスピーチ原稿をALTにチェックしていただいたり、定期テストに数回出題し、解説時に何回も発音させたりすることで、定着ができていたと考えられる。無回答率も 0.7%(全国 4.6%)であり、ほとんどの生徒が何か英語で話そうとしたことが分かった。

話してほしい内容
(①,②のどちらも話してください)

①あなたの将来の夢、または、
将来やってみたいこと
②その実現のために頑張っていること、
やるべきこと



大問3 あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。

(考える時間 1分)

それでは、30秒で話してください。

(解答時間 30秒)

今後の指導について

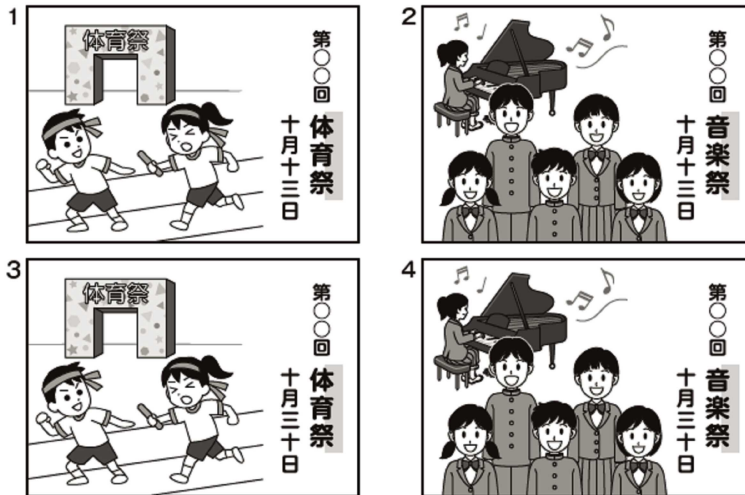
比較的よくできていたと思う。特に夢についてのスピーチは何度も繰り返したことで、定着が図られたと考える。しかし、2の状況に応じた疑問文の作成においては、かなり悪かったので、今後は、①状況設定した中で、疑問文を考えさせるコミュニケーション活動を取り入れる。②疑問文の作り方の再指導。③問題を理解するための基礎力を学ばせたい。

(1) 全国平均よりも正解率が低かった問題

1 (3) (4) 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる問題

(3) 外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

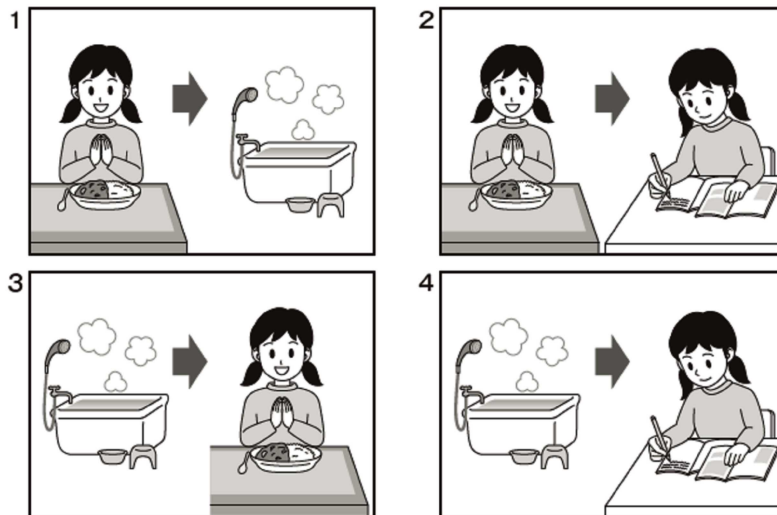
(3) <外国人の先生と女子生徒の会話>



文化祭と体育祭の聞き間違いは少なかったが、数字の13と30の発音の聞き間違いが多かった。正答率 69.0% (全国 72.3%) 無回答 0%

(4) 家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

(4) <家での会話>



食事と入浴をすることは約 85%の生徒は聞き取れたが、before と after が聞き取れなかったと考えられる。正答率 58.6% (全国 61.8%) 無回答 0%

(考察)

数字の聞き取り before / after を聞き間違えてしまうとコミュニケーションが成立しないため、再指導をする必要がある。普段から意識させたい。しかし、今までもくり返し数字の 13 と 30 など-teen と-ty の指導は重ねてきている。もう一度指導を徹底して、定着を図りたい。

10 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意して、まとまりのある文章を書くことができる問題

学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く

10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

正答の条件

- ① どちらの案がよいか、1つ選んで意見を書いている。
- ② 選んだ理由等について、2つの案に触れながら書いている。
- ③ 25語以上の英語で書いている。



※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (, や ? など) は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

非常に難しい問題であった。正答の条件をすべて満たし、かつ正確な英語で解答している生徒はいなかった。しかし、3つの条件をすべて満たし、おおむね正確な英語(コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い)で解答している生徒が 0.7%(全国 0.5%)、3つの条件をすべて満たし、2つの案の触れ方について具体性に欠けるもの(コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い)で解答している生徒が 0.7%(全国 1.2%)、3つの条件を満たしているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあり誤答になった生徒が 32.47%(全国 32.1%)、条件③の25語以上で書けなかった生徒が 33.8%(全国 29.5%)、無回答が 4.8%(全国 8.3%)であった。

(考察)

問題の意味が分かり、英文を書く意欲があるので、無回答率は低かったが、25語以上で書けなかった生徒が多いようであった。なんとか知っている単語を使って書こうとした生徒もたくさんいたが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあり誤答になった生徒もたくさんいた。今後は、①正確な英文を書けるようになる練習(並び替え問題などで英語の順番に慣れさせる)②語彙力 up(単語テストなどで)③解答の条件を守るように問題をよく読む指導を心がけたい。

(2) 全国平均よりも低かった無回答率の問題はなかったが、無回答率が高かった問題

4 来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く問題。無回答率 35.9%(全国 42.3%)

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



8 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く問題。無回答率 20.0%(全国 27.9%)

8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai*! We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

(注) the World Food Programme: 世界食糧計画 (国際連合の事業)
project: 事業 waste: ~を無駄にする rice ball: おにぎり
not only ~, but also ... : ~だけでなく, ...も

(考察)

英文を書く問題においては、書こうとする意欲はあるが、問題の意味が分からないため英作文ができず、そのために無回答率が多かったのではないかと考えられる。今後、聞き取る力と読み取る力をつけさせ、さらに言いたいことが、英語で表現できるようにさせたい。